

【考え方・背景】

- ✓ 2014年に制定された「まちひとしごと創生法」に基づき、目標や基本的方向等を取りまとめている国の総合戦略については、これまでの地方創生施策は継続しつつ、これをデジタルの力によって高度化・加速化させることにより、個性あふれる地域を実現していくための基礎をつくっていくとし、これまで以下のとおり総合戦略が策定・改訂されてきた。
 - （地方創生1.0）
 - ・（第1期）まち・ひと・しごと創生総合戦略 ※期間：2015～2019年度
 - ・第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 ※期間：2020～2024年度
 - ・デジタル田園都市国家構想総合戦略 ※期間：2023～2027年度
- ✓ 以降、日本の急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくための取組を進めてきたが、2025年6月には、「地方創生2.0基本構想」が閣議決定され、今後10年間を見据えた地方創生の方向性が定められた。
- ✓ これを踏まえ、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を変更し、「地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略」が2025年12月に策定され、この総合戦略で整理された施策を基盤に、「強い経済」の実現に力点を置いた全体戦略としての「地域未来戦略」が2026年夏を目途に取りまとめられる予定である。
 - （地方創生2.0）
 - ・基本構想【2025年6月13日閣議決定】
 - ・地方創生に関する総合戦略【期間：2025～2029年度】
- ✓ そのため、2027年度からの本市総合戦略についても、法に基づいてこれまでの目的を継続しながら、国の総合戦略を勘案しつつ本市の実情を踏まえた取組を推進するため、第1期基本計画の中で設定した総合戦略目標を第2期基本計画における総合戦略目標へ改訂するとともに、総合計画・基本構想で定める「岸和田を強くする“3つの視点”」の要素を含んだ横断目標を継続する。

従前の総合戦略（国）

めざすべき将来

- ◇ 将来にわたって「活力ある地域社会」の実現
- ◇ 「東京圏への一極集中」の是正

基本目標

※総合戦略の4つの柱

- ① 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
- ② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

横断目標

- ◇ 新しい時代の力を流れにする
- ◇ 多様な人材の活躍を推進する

新しい総合戦略（国）

めざす姿

※政策目標より

- ① 強い経済
- ② 豊かな生活環境
- ③ 選ばれる地方

政策の5本柱

- ① 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- ② 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
- ③ 人や企業の地方分散
- ④ 新時代のインフラ整備とA I・デジタルなどの新技術の徹底活用
- ⑤ 広域リージョン連携

【総合戦略の目的】

- ✓ 急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力あるまちを維持する。
(地方創生)
※まち・ひと・しごと創生法第1条に変更はないが、従前の国の総合戦略は人口減少を押しとどめる前提での施策展開を想定して基本目標が設定されていた。
今回は人口減少が進む中でも経済成長、地域社会を維持する想定で基本目標が設定されている。

【総合戦略の策定・推進・管理】

- ✓ 総合戦略を総合計画に一体化させるとともに、具体的な施策の推進やその評価なども、一体的に実施していくものとする。

【総合戦略の取組】

- ✓ 総合戦略のいずれの取組についても、総合計画の体系下に位置付けられているものであり、総合戦略の目的に合致するとして抽出した取組を、前回に引き続き総合戦略目標にひもづけて再整理する。

従前の総合戦略（市）

総合戦略目標

① 持続可能で稼げるまちの実現

地域資源を活かし、多彩な産業の生産性・競争力の強化を図るとともに、その担い手や専門人材の確保・育成をめざします。

② 魅力的で安心して働けるまちの実現

誰もがやりがいを持って働ける環境の創出とともに、適切なワーク・ライフ・バランスの実現をめざします。

③ 移住・定住が活発なまちの実現

若い世代を中心とした人々の移住・定住の促進とともに、地域の魅力や暮らしの満足度の向上をめざします。

④ 関わる人々が多様で豊かなまちの実現

市内外の多くの人々の本市に対する関心が高まり、地域課題の解決や地域コミュニティの活性化にみんなで取り組んでいる状態をめざします。

⑤ 結婚・出産・子育てしやすいまちの実現

地域資源を活用した支援や切れ目のない支援を充実させることにより、誰もが安心して結婚・出産・子育てができる状態をめざします。

⑥ ひとが集い、誰もが安心して暮らせるまちの実現

適切な拠点形成と交通ネットワークの最適化とともに、健康・防災・安全対策・良好な住環境の創出など安全安心につながる取組が進められている状態をめざします。

横断目標

- ① 岸和田の絆を活用した多様な人材の活躍推進
- ② スマートシティを見据えた先端技術の活用
- ③ 多様な地域資源の活用

新しい総合戦略（市）

総合戦略目標

① 持続可能で稼げるまちの実現

地域資源を**高付加価値化**し、多彩な産業の生産性・競争力の強化を図るとともに、その担い手や専門人材の確保・育成をめざします。

② 魅力的で安心して働けるまちの実現

誰もがやりがいを持って働ける環境の創出とともに、適切なワーク・ライフ・バランスの実現をめざします。

③ 移住・定住や企業誘致が活発なまちの実現

若い世代を中心とした移住・定住の促進と**企業誘致**を通じて地域の魅力や暮らしの満足度を**高め、新たな雇用を創出して地域活力**の向上をめざします。

④ ひとが集い、誰もが安心して暮らせるまちの実現

適切な拠点形成と交通ネットワークの最適化とともに、健康・防災・安全対策・良好な住環境の創出など安全安心につながる取組が進められている状態をめざします。

⑤ **デジタルを活用したまちの実現**

AIなどの新技術を活用し、地域に根ざした先進的なサービスを提供するとともに、誰もが安心して使えるデジタルインフラを整備し、**地域社会の変化に迅速に対応できる状態**をめざします。

⑥ **多様な主体が連携する豊かなまちの実現**

地方公共団体、経済団体、研究機関などの多様な主体が協力し、地域課題の解決や地域の成長に取り組んでいる状態をめざします。

横断目標

※基本構想に基づくため、引き継ぐ

- ① 岸和田の絆を活用した多様な人材の活躍推進
- ② スマートシティを見据えた先端技術の活用
- ③ 多様な地域資源の活用